

〔 横浜市市民文化会館関内ホール 〕
令和4年度業務報告及び収支決算
〔 かんないアート&メディアパートナーズ 〕

(株) t v k コミュニケーションズ・(株) テレビ神奈川・神奈川新聞社・
(株) 清光社・(公財) 横浜市芸術文化振興財団共同事業体

※ 文中の事業欄において、●：主催事業 ○：共催事業を示します。
※ 文中の達成指標欄において、□：定量的指標 ■：定性的指標を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市市民文化会館関内ホール
所在地	横浜市中区住吉町4-42-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上5階地下2階建
敷地・延床面積	延床面積 8,967.51 m ²
開館日	1986年(昭和61年)9月27日

2 指定管理者

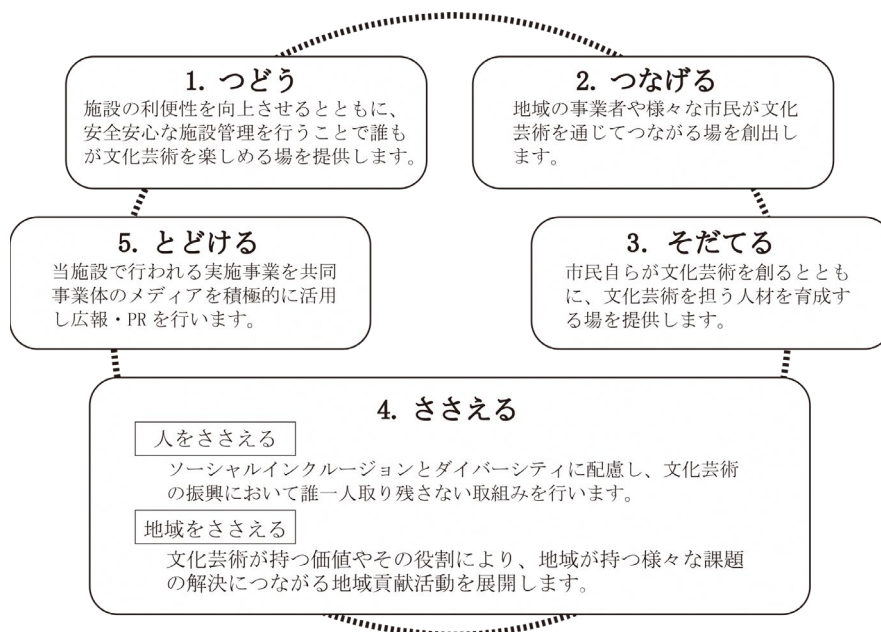
法人名	株式会社 t v k コミュニケーションズ
所在地	横浜市西区西平沼町6-1 tvk ecom park (ヨコハマくらし館内)
代表者	熊谷典和
設立年月日	昭和49年9月10日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	令和4年4月1日

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

横浜市の文化芸術政策等への貢献を念頭に、施設の特性や馬車道エリアという立地を活かし、施設のミッションである「文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場の提供」「文化・芸術の鑑賞の機会の提供」「次世代を担う人材の育成」「地域のにぎわいの創出」等を実現するため、3期15年間の運営経験と5社共同事業体の持つ専門性を活かし、下記に示す5つのコンセプトと6つの使命に対する基本方針で関内ホールの管理運営に取り組めます。

◆ 5つのコンセプト



◆ 6つの使命と基本方針

1. 〈使命1〉 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場になる

- ①各種法令、条例、規則などを遵守し、あらゆる市民が利用し易い環境づくりを行います。
- ②施設利用者に対し、全職員のきめ細かな接遇やワンストップサービス（生花、弁当、機材等の手配）を実施することで発表、集会等、様々な文化的活動を支援します。
- ④利用者に対する定期的なアンケートやヒアリングを行うとともに、苦情があった際は対応フローに基づいた適切な対応を行った上で、今後の改善策を検討します。

2. 〈使命2〉 文化芸術の鑑賞機会を提供する

- ①地域の文化振興のニーズに応えるとともに、新たな文化芸術にも着目し、市民のための文化施設としてこれまでの文化芸術の継承と更なる拡がりのある鑑賞事業を実施します。
- ②市民参加型のシンボリックな事業への参加、体験型事業やアウトリーチ事業の積極的な実施により、市民の文化芸術についての意識を醸成します。
- ③ソーシャルインクルージョンに配慮し、障がいの有無に関わらず、一人でも多くの方に文化芸術の鑑賞の機会を提供します。

3. 〈使命3〉 次世代を担う人材を育む

- ①乳幼児対象や幼児から学童対象、小中学生等、子どもの成長段階や興味に合わせて、文化芸術に触れる多彩な機会を提供することで未来のアーティストの芽を育てます。
- ②若手ジャズミュージシャンの発掘や育成に向けてのステップアップ方式の演奏機会を提供すること等により、新進アーティストが活動の機会を広げる支援を行います。
- ③横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』に積極的に協力し、市民に向けた文化芸術活動に係る講座を開催することで、文化芸術活動の担い手の育成にも取り組みます。

4. 〈使命4〉 地域のにぎわいを創出する

- ①地元の馬車道商店街などに対して、広報活動の支援や地域イベントへの協力、クーポンサービスなどの実施により、連携・協働して地域の賑わいづくりを推進します。
- ②当共同事業体の強みを活かした様々なプロモーション活動を実施するとともに、地域文化の継承の役割も担います。
- ③地元事業とのタイアップや様々な関連団体との連携を行うことで地域の賑わいを創出するとともに、新たな地域貢献にも取り組めます。

5. 〈使命5〉 利用者の視点に立ち持続可能性を高める施設運営を行う

- ①これまでの当施設の管理運営ノウハウを発揮し、日々の施設点検と早期の修繕実施による施設の長寿命化を実現します。
- ②様々な災害を予見した、マニュアルの作成や職員への訓練、利用者に対する安全の確保を行い、施設の安全安心な利用を第一に考えます。
- ③公演開催時には多くの方が利用される施設であるため、業務基準を上回る清掃を実施することで、施設の安全性と美観を保ちます。

6. 〈使命6〉 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する。

- ①新型コロナウイルス感染症拡大等の影響による休館や利用者の制限があった際には、市と協議の上で速やかな対策を実施するとともに、制限が解除された際にすぐに安全が確保できる体制を整えます。
- ②感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下、安全安心な自主事業を開催するとともに、無観客ライブ配信や有観客とライブ配信を組み合わせる等、状況に応じた事業を実施します。

(2) 令和4年度の業務の方針

*基本的な方針の総括

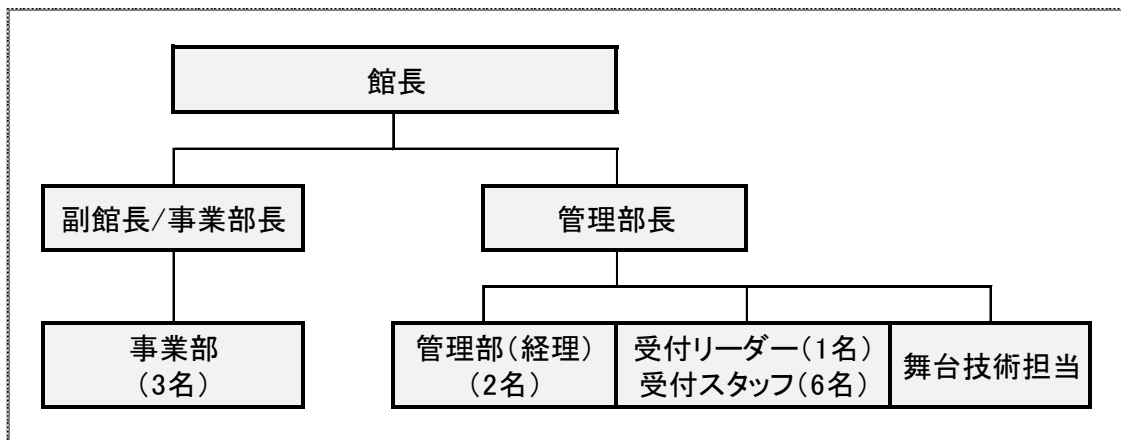
あらたなJVとして第4期指定管理となる令和4年度は、2020年来の新型コロナウイルス感染症の影響を引き続き受ける中、施設運営・自主事業ともに、感染症対策ガイドラインを遵守しつつ、文化芸術活動も徐々に戻り、前年度に比べ大きな回復が見られたが、第4期の初年度は世界的な燃料費の高騰に伴い、長年契約していた新電力事業者との契約解除から始まり、以後契約先はみつからず東電最終保障による電力供給となった。燃料費高騰の影響で電気・ガス代は対予算の1.5倍以上に膨れ上がり収支に多大な影響を及ぼした。

こうした状況のなか、施設の稼働率は、コロナの影響でキャンセルは多くあったなか大ホールは目標値に一步届かないところまで稼働率は上がり、アフターコロナの兆しが見受けられた感があったが、小ホールは影響から抜け出すことが出来ず稼働率の上昇は次年度の課題となる。

また新たな体制に加わった神奈川新聞社のメディア力を活用して、広報の強化を行い、積極的な広告掲載や記事による後パブを行った。地域の結節点として、次年度に向けて商店街や企業・大学などとの連携事業を馬車道まつりアートフェスタにおいて企画し、次年度の開催が予定されている。

4 運営組織の構造、人員配置

◆組織図



- *互いに業務を補完しマルチジョブによる効率的で効果的な体制で取り組んだ。
- *専門分野の人材を適正に配置し施設の管理を行った。
- *実務経験を有する職員を配置し、専門性を発揮し、市の施策に則り業務を実施した。
- *JVの特色を生かし地域特性を熟知した事業企画や幅広い広報活動を実施した。

5 令和4年度の業務の取組

(1) 文化事業

コロナガイドラインの緩和に合わせ、公演は100%の定員で実施し、年度末にはチケットが完売するところまで回復した。感染リスクの高い参加型事業については、開催について慎重に判断し、中止または規模を縮小して行った。馬車道商店街との連携による地域の賑わい創出においては、アートフェスタで東京ガス主催のガス・鉄道150年記念公演を初めて実施し、次年度には地域の大学（神奈川大学・関東学院大学）との連携事業へと発展させることができた。

■今年度の実施事業（詳細は別紙「使命の指標の達成状況」）

〈鑑賞事業〉

計画を大きく上回る76公演を実施し、3万2千人を超える来場者を得た。リニューアル工事後大きく改善した大ホールの音響反射板を活用して、本格的なクラシックコンサートを実施し、出演者からも高い評価を得た。

〈ソーシャルインクルージョンに配慮した鑑賞機会の提供〉

「留学生交流音楽祭」が中止になり、今後の開催についても不透明な状況のため、それに代わる事業を検討する必要がある。障がいのある方々へ文化芸術の鑑賞機会を提供する手助けとして、障がい者割引を実施しているが、どのような支援が必要かを引き続き検討していきたい。

〈横浜が誇る文化芸術事業への協力〉

「横浜ジャズプロムナード」「ヨコハマ映画祭」など市内外に発信力のある事業に協力した。また、市内の小学生を対象としたバレエ鑑賞会「心の教育・バレエの世界」について制作業務を担当し、当日の運営まで滞りなく完了した。

〈次世代育成事業〉

0歳から参加できる「よちよちひなたぼっこコンサート」や小学生を対象とした「絵本 de クラシック」などのクラシックコンサートを始め、落語の成り立ちを学んで体験できる「子ども寄席」や一般公募による「こどもミュージカル」等を実施した。“教育プラットフォーム「学校プログラム」”については3校のコーディネーターを担当し、アーティストを派遣した。

〈新進アーティスト支援事業〉

コロナ感染症の影響により実施を見合わせていた、玄関前ステージでのストリートライブを試行的に実施した。老舗ジャズ喫茶「ちぐさ」が主催する新人ジャズミュージシャンの登竜門とされる「ちぐさ賞ライブ」や日本バレエ協会が主催する若きバレエダンサーのための新人コンクールを共催事業として実施した。

〈市民の創作活動のための機会の提供〉

一般公募による市民ミュージカルを実施したが、「ゴスペルワークショップ」と観客の歌唱コーナーがある「陽だまりコンサート」は今年度の開催を見送った。リハーサル室利用者による「文化祭」と「障がいの有無に関わらず、共に参加する共創型のダンスワークショップ」（再掲：3館連携事業）については、次年度以降の実施に向けた企画検討を行った。

〈地域の賑わいへの貢献〉

馬車道商店街との連携による“あいすくりーむ発祥記念イベント”の記念コンサートや10/31から4日間の日程で実施する“馬車道まつり アートフェスタ 2022”（11/3 関内ホール1日オープンデーを含む）を実施した。チラシの作成だけではなく、今年度からはポスターの制作も行い、より効果的な広報に努めた。

〈情報提供及び広報〉

新たに構成企業に加わった神奈川新聞の紙面において目標を上回る33回の掲載を行ったほか、テレビ神奈川の情報番組内の告知とスポットCMの放映を行い、多くの市民への周知を行った。そのほか、無料の媒体だけではなく有料の媒体にも掲載し、チケット販売サイトのバナー広告などを有効に活用した。

(2) 集会や講演会利用への施設の取組み

舞台技術スタッフによる経験則に基づいた利用者へのきめ細やかなアドバイスと、公演実施で必要となる生花や看板などの手配をワンストップで可能にする“ステージコンシェルジュ”でスムーズな催事実施に寄与した。サポートした。またホームページからは施設のデータ資料や、申請書類などPDFでダウンロードできるよう整備した。また大・小ホールで開催する講演会、研修会、発表

会などにおいては、既設のリアル動画配信システムよりコロナ禍における多くのリモート参加者に寄与した。

(3) 施設運営

アンケートでは満足いただいている声が多くを占めていたが、責任者会議や職員会議で利用者の意見を基に情報共有を行い、業務の改善に繋げた。令和4年度もコロナの影響は残り、キャンセルも多く利用率を向上することは叶わなかったが、利用される方が安心して利用できるよう感染症拡大防止ガイドラインに則った運営を行った。社会的に会議もリモートが主となり、ホールで行う総会、研修等利用においてリアル動画配信は好評を博した。リハーサル室のネット回線は有線利用については整備したが、無線化については次年度への課題となった。年間を通じて利用者の声に耳を傾け寄り添った運営を心掛けて取り組んだ。

(4) 施設管理

5月から9月にかけて行われた外壁工事において施設管理者として着工会議から参加し工事が滞りなく行われるよう全面的に協力した。また、工事期間中の利用者からの騒音、異臭に対する苦情には、外壁工事についてご理解いただけるよう真摯に向き合い尽力した。消防の立入検査により指摘されて事項について令和4年度中に滞りなく取り組んだ。利用される方が安心して利用できるよう日頃から設備点検の実施、警備員の定期的な巡回、日常清掃を実施し複合施設の管理者として、施設全体の美観を維持し、快適な環境づくりに寄与した。

(5) 収支

上期はコロナの影響で人気作家による落語会においても苦戦を喰われたが、今期からJV加わった神奈川新聞社の新聞紙面による広報強化より、下期の自主事業は完売するなど事業による収入増につなげた。貸館においては利用キャンセルも多く、利用率については目標に及ばなかったが、各種サービスにより大ホールの稼働率は目標値近くまで上向き、利用料収入は予算を上回り収入増に繋がったが、世界的な燃料費の高騰による電気・ガス代の高騰は収支に多大な影響を及ぼし、横浜市への支援がなければ収支改善は図れなかった。

多くの事業で収益を出しているため、持ち出し部分の一部を補填する公的助成金を活用するメリットは限定的であり、オープンデーなど無料で開催している事業は見直しが必要で、収益性の高い公演事業と持出が多い普及育成事業のバランスの検討は次年度の課題となる。

(6) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

事務所、警備、設備、清掃、舞台等のセクションごとに管理日報を作成。管理日報や責任者会議等々の報告事項をとりまとめ月次モニタリング会議で横浜市へ報告を行った。

業務計画書ならびに業務報告書、業務評価表を横浜市へ提出した。

(7) その他

5月から9月にかけて行われた「外壁タイル改修等工事」関係各所との調整を図り全面的に協力し滞りなく完了したが、利用者から相次いだ苦情の「騒音、異臭」については発生自体をクリアにしない限り利用者を納得させることは困難であった。今回の工事は剥落防止対策になり、今後何

年後になるか先ではあるが、同様工事を行う場合、音が大きくなる作業、塗料を塗る作業日程は休館日に設定するなど慎重に進めることが求められる。

6 使命の指標の達成状況

(1) 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績	
1	貸館利用率	大ホール	92.4%	94.1%	—	—	—	95.0%	—
		小ホール	79.3%	83.7%	—	—	—	86.2%	—
2	総来場者数	208,093 人	280,000 人	—	—	—	310,000 人	—	
3 ★	リハーサル室利用者による文化発表会の実施	実施に向け検討した	年1回	—	—	—	年1回	—	
4 ★	業務改善のためのPDCAサイクルとして定期的に責任者会議を実施	2カ月に1回	月1回	—	—	—	月1回	—	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	主催者、来場者、事業参加者アンケートを実施
		R 5 達成指標	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

- ・様々な割引制度により、条例に定められた該当団体への減免を適切に実施した。「マイ練習プラン」は稼働率が高かったため実施を見合わせた。「生中継動画配信サービス」を無償で提供し、オンラインによる参加に貢献した。
- ・子供向けの参加型コンサート「よちよちひなたぼっこコンサート」を実施し、多くの乳幼児の参加を得た。社会人を対象としたゴスペルワークショップは、コロナ感染リスクが高いことから開催を見送った。今後についても慎重な検討が求められる。
- ・業務改善のためのPDCAサイクルとして利用者アンケートを実施するとともに、日常的に利

利用者来場者の意見に耳を傾け、適宜改善を行った。定期的に責任者会議を実施してそれぞれの課題を共有・解決に努め、利用者満足度の向上に取り組んだ。

- ・次年度以降に実施を予定している、リハーサル室の定期利用者による文化発表会の実施について利用者へのヒアリングを行った。

(2) 使命2 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	鑑賞型事業のメニューのジャンル数、実施回数及び入場者数	7ジャンル 76回 32,211人	7ジャンル 44回 29,000人	—	—	—	7ジャンル 44回 35,500人	—
2	体験型事業の事業数及び実施回数	4事業 5回	6事業 17回	—	—	—	6事業 17回	—
3	アウトリーチ事業の実施回数	年0回	年2回	—	—	—	年2回	—
4	満足度集計(事業アンケートによる)	86.1%	「満足」以上 85%	—	—	—	事業アンケートで「満足」以上の回答90%	—
5★	ソーシャルインクルージョンに配慮した事業の実施数	3事業	6事業	—	—	—	8事業	—
6★	公的な文化芸術事業へ協力を行った数	6事業	5事業	—	—	—	5事業	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の定性分析	R 4 実績	事業アンケートや事業モニターへのヒアリングを行い改善に努めた
		R 5 達成指標	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行う
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行う
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

- ・ソーシャルインクルージョン、障がい者の来場支援については、割引制度や招待以外にも何ができるのかを継続的に検討していく必要がある。
- ・主催事業において「満足」以上の回答がどの事業でも概ね 85%を超えている。満足度に対する未記入があり、実際はさらに高いものと予想される。
- ・事業アンケートの回収率は常に 40%を超え、「はじめて (32%)」の来場者と「5 回以上 (33%)」のリピーターが多い。地域属性としては、圧倒的に横浜市内が多く、70%弱を占めている。年齢層は、70 代 (29.2%) を筆頭に 60 代 (25.7%) 50 代 (18.6%) 40 代 (11%) と年齢順に減っていき、20 代以下は 3.8%だった。
- ・公的な文化事業の実施に向けた積極的な支援・協力をを行い、各主催団体と良好な関係を築き、継続的な実施を担保できた。

(3) 使命 3 次世代を担う人材を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	子どもをターゲットとした事業数	16 事業	10 事業	—	—	—	10 事業	—
2 ★	玄関前ステージでの公募型ストリートライブ定期開催数	2 回	10 回	—	—	—	10 回	—
3 ★	新進アーティスト支援を目的とした事業数	10 事業	5 事業	—	—	—	5 事業	—
4 ★	学校プログラムへの協力	3 校	2 校	—	—	—	2 校	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	子どもたちや学校の定性分析	R 4 実績	事業アンケートを実施した。
		R 5 達成指標	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行う
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行う
		R 8 実績	—
2	新たに参加した人の属性分析	R 4 実績	事業アンケートを実施し、参加者の属性分析を行い事業企画や広報の参考にした
		R 5 達成指標	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画

	析		や広報に活かす
	R 5 実績		—
	R 6 実績		—
	R 7 実績		—
	R 8 達成指標	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活かす	
	R 8 実績		—

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

- ・ストリートライブ「ショートパフォーマンスライブ (SPL)」はコロナ感染症の状況が予測できなかったため、新たな公募は行わず既存のアーティストによるライブを試験的に行った。
- ・音楽やダンス等、新進アーティスト（若手アーティスト）支援を目的とした事業は10事業を実施した。
- ・学校プログラムは小学校2校・中学校1校を担当した。
- ・コンサートや演劇、ワークショップ事業など、子どもを対象とした事業は16事業を実施した。
- ・主催事業アンケートからは、関内寄席においても10代以下が一定数いることが分かった。多くが保護者と来場しており、子供やファミリー層を対象とした事業から一般向けの事業へとつなげる創客の取組を検討したい。

(4) 使命4 地域のにぎわいを創出する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	地域の施設・団体と連携して実施した事業数	18 事業	10 事業	—	—	—	10 事業	—
2 ★	デジタルアーカイブ（関内ホール動画コレクション）に地域イベント等の新規タイトルを追加	10 本追加	10 本追加	—	—	—	10 本追加	—
3 ★	馬車道商店街とのヒアリングを実施	毎月1回	毎月1回	—	—	—	毎月1回	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	連携したことによる地域の定性分析	R 4 実績	地域の団体関係者と日常的にヒアリング・意見交換を行った
		R 5 達成指標	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行う
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—

	R 8 達成指標	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行う
	R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

- ・ “あいすくりーむ発祥記念の日” および “馬車道まつり” において、馬車道商店街との共同主催により、円滑に事業を実施した。その他の事業についても制作・広報・技術協力を行い、地域との協働を実現している。
- ・ 地域の関連団体（関内まちづくり振興会）と連携については、地元商店街との関係性を重視し、慎重に検討している。
- ・ 当共同事業体と連携している、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザの3館連携事業としてダンス・音楽・アート3分野でのイベント開催について、内容や方向性について会議を行い次年度の実施を計画した。

(5) 使命5 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0件	0件	—	—	—	0件	—
2	法定点検等の実施	100%	100%	—	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	93%	90%	—	—	—	90%	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 4 実績	空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設けたアンケートを実施。
		R 5 達成指標	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行う。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行う。
		R 8 実績	—
2	管理運営	R 4 実績	管理運営費を分析し、運営費の執行及び修繕を実施した。

	費推移の 要因分析	R 5 達成指標	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行う。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行う。
		R 8 実績	—
3 ★	中期修繕 計画の策 定と見直 し	R 4 実績	中期修繕計画を策定した。
		R 5 達成指標	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定する。
		R 8 実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

- ・来場者アンケートでは空調や館内サインについて項目を設け、責任者会議において利用者の意見を共有し、より快適にご利用いただけるよう努めた。
- ・施設維持管理において年間作業計画に基づく点検を実施、管理瑕疵に起因する事故0を達成した。
- ・半導体不足の影響で今年度見込んでいた修繕が実施できない事態があった。次年度の課題として適切に修繕できるよう早めに発注を行う。

令和4年度 「横浜市市民文化会館関内ホール」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	136,587,000		136,587,000	136,587,000	0	横浜市より
利用料金収入	68,900,000		68,900,000	80,726,345	△ 11,826,345	
自主事業収入	30,950,000		30,950,000	22,982,116	7,967,884	
支援金など				7,800,000		
雑入	27,214,000	0	27,214,000	30,683,442	△ 3,469,442	
自動販売機手数料	1,900,000		1,900,000	1,628,121	271,879	
育成センター施設負担金	10,579,000		10,579,000	13,140,000	△ 2,561,000	
附属店舗賃借料・共益費・電気料	10,385,000		10,385,000	12,323,425	△ 1,938,425	市に納付の附属店舗賃借料を含む
その他(チケット販売手数料等)	4,350,000		4,350,000	3,591,896	758,104	チケット販売手数料、物販手数料 他
収入合計	263,651,000	0	263,651,000	278,778,903	△ 7,327,903	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	53,046,000	0	53,046,000	53,119,985	△ 73,985	
給与・賃金	45,570,000		45,570,000	50,275,706	△ 4,705,706	
社会保険料	5,766,000		5,766,000	1,584,943	4,181,057	
通勤手当	1,710,000		1,710,000	1,259,336	450,664	
健康診断費	0		0	0	0	出向者分は共同事業体各社にて負担
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	出向者分は共同事業体各社にて負担
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	出向者分は共同事業体各社にて負担
事務費	17,111,000	0	17,111,000	19,597,043	△ 2,486,043	
旅費	30,000		30,000	10,568	19,432	
消耗品費	1,320,000		1,320,000	2,296,359	△ 976,359	
会議賄い費	30,000		30,000	0	30,000	
印刷製本費(広報費含む)	2,080,000		2,080,000	2,309,570	△ 229,570	
通信費	1,030,000		1,030,000	1,249,355	△ 219,355	チケット・チラシ配送費、郵券代含む
使用料及び賃借料	9,007,000	0	9,007,000	10,883,049	△ 1,876,049	
横浜市への支払分	9,007,000		9,007,000	10,883,049	△ 1,876,049	定期建物賃借料(附属店舗)、目的外使用料256,185(飲料自販機6台分、ドリンクコーナー)
その他	0		0	0	0	
備品購入費	360,000		360,000	0	360,000	
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	113,000		113,000	117,360	△ 4,360	業務災害補償保険(補償対象者：自主事業時のアルバイト)を含む
職員等研修費	100,000		100,000	0	100,000	
振込手数料	360,000		360,000	364,967	△ 4,967	チケット代引き手数料 ぴあ佐川振込手数料他
リース料	1,791,000		1,791,000	1,428,900	362,100	無線機、コピー複合機、紙折機、パソコン、PC本体・保守、AED 他
手数料	70,000		70,000	93,005	△ 23,005	横浜銀行等銀行振込手数料
地域協力費	810,000		810,000	843,910	△ 33,910	馬車道商店街協同組合費、住吉町町内会費、全国・県公文協会費
事業費	29,430,000	0	29,430,000	25,116,012	4,313,988	
自主事業費	29,430,000		29,430,000	25,116,012	4,313,988	
管理費	157,397,000	0	157,397,000	174,972,174	△ 17,575,174	
光熱水費	30,990,000	0	30,990,000	48,783,324	△ 17,793,324	
電気料金	24,300,000		24,300,000	37,464,892	△ 13,164,892	
ガス料金	3,000,000		3,000,000	7,558,050	△ 4,558,050	
水道料金	3,690,000		3,690,000	3,760,382	△ 70,382	
清掃費	20,068,000		20,068,000	20,086,590	△ 18,590	
修繕費	3,800,000		3,800,000	3,578,806	221,194	
舞台管理技術委託費	48,884,000		48,884,000	48,868,454	15,546	
機械警備費	1,040,000		1,040,000	1,040,000	0	
設備管理費	52,615,000	0	52,615,000	52,615,000	0	
空調衛生設備保守	13,754,000		13,754,000	13,754,000	0	
消防設備保守	4,754,000		4,754,000	4,754,000	0	
電気設備保守	11,991,000		11,991,000	11,991,000	0	
害虫駆除清掃保守	810,000		810,000	810,000	0	
駐車場設備保全費	165,000		165,000	165,000	0	
その他保全費	21,141,000		21,141,000	21,141,000	0	
共益費	0		0	0	0	
公租公課	5,464,000	0	5,464,000	5,437,951	26,049	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	5,274,000		5,274,000	5,246,240	27,760	
印紙税	47,000		47,000	50,000	△ 3,000	
その他(国税・地方税)	143,000		143,000	141,711	1,289	預金利息の国税・地方税、中区法人市民税均等割り額
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,203,000	0	1,203,000	1,246,265	△ 43,265	
本部分	715,000		715,000	715,000	0	経理事務負担金及び確定申告税理士報酬負担分
当該施設分	488,000		488,000	531,265	△ 43,265	新聞購読料、一般廃棄物処理費、機密文書溶解処理費、粗大ごみ処理費等
支出合計	263,651,000	0	263,651,000	279,489,430	△ 15,838,430	
差引	0	0	0	△ 710,527	8,510,527	

自主事業費収入				22,982,116		
自主事業費支出				25,116,012		
自主事業収支				△ 2,133,896		

管理許可・目的外使用許可収入				25,463,425		
管理許可・目的外使用許可支出				11,048,049		
管理許可・目的外使用許可収支				14,415,376		